

目 次

『水力発電所の圧油タンクおよび圧油ポンプ容量決定法』

の補足審議	水力発電所設備専門委員会
委員会組織	(1)
第1章 ま え が き	(3)
第2章 補足審議経過	(3)
2・1 圧油タンクの考え方の解明を要する問題点	(3)
2・2 国内, 国外の圧油タンク容量の考え方	(3)
2・3 圧油タンク容量決定に対する考え方	(5)
2・4 圧油ポンプ容量の基本的な考え方	(6)
2・5 諸外国における圧油ポンプ容量の考え方	(7)
2・6 圧油ポンプ容量決定に対する考え方	(7)
第3章 補 足 審 議 結 果	(9)
3・1 圧油タンクの全容量	(9)
3・2 予備ポンプの起動	(9)
3・3 警 報 の 油 圧	(9)
3・4 残 油 量	(9)
3・5 漏 油 量	(9)
3・6 発電所に対する各級の適用	(9)
3・7 圧 油 ポ ン プ	(10)
第4章 圧油タンク容量の計算例	(10)
4・1 立軸フランシス水車 A級(例1)	(10)
4・2 立軸カプラン水車 A級(例2)	(10)
4・3 立軸フランシス水車 C級(例3)	(11)
付 録 水力発電所の圧油槽および圧油ポンプ容量決定法(電気協同研究第12巻第2号)	
第1章 研 究 方 針	(12)
第2章 審 議 経 過	(12)
2・1 本質的考え方	(12)
2・1・1 入口弁動作方式	(12)
2・1・2 油 圧	(12)
2・1・3 停止油圧の取り方	(12)
2・2 実際の考え方	(13)
2・2・1 油圧槽と圧油ポンプの関連性	(13)
2・2・2 圧 油 槽 関 係	(13)
2・2・3 圧油ポンプ関係	(13)
2・2・4 そ の 他	(13)
第3章 圧油槽および圧油ポンプ容量決定法	(14)
3・1 適 用 範 囲	(14)
3・1・1 水車及び入口弁型式	(14)
3・1・2 サーボモータ動作源	(14)
3・1・3 油 圧	(14)

3・2 圧油槽容量決定法	(14)
3・3 圧油槽容量計算法	(14)
3・4 圧油ポンプ容量決定法	(15)
第4章 適用上の注意	(15)
4・1 圧油槽容量決定法の適用例	(15)
4・2 圧油ポンプ容量決定法の適用例	(15)
4・3 その他	(15)
〔添付資料〕	
A・5・1 水車の圧油タンク，圧油ポンプの容量決定法の再検討について	(16)
A・5・4 米国AC社標準圧油装置容量について	(23)
A・5・5 米国TVAの圧油装置容量標準について	(23)
A・5・6 水車の圧油タンク，圧油ポンプの容量決定に関する意見	(23)
A・5・8 ドイツ・フォイト社圧油装置標準容量について	(24)
A・5・9 ESCHER WYSS 方式による圧油タンク容量決定について	(25)
A・5・13 圧油装置の圧油タンク内の残油量と集油タンクの容積について	(25)
A・5・14 圧油装置関係資料	(26)
A・5・15 米国WW社の圧油装置容量に対する考え方	(26)
A・5・20 圧油タンクと圧油ポンプの比較計算	(27)
A・5・27 外国より引合の水車購入仕様書に指定された圧油タンクと圧油ポンプ との容量の例	(28)
A・5・29 水力発電所圧油装置の漏油量に対する各製作者の考え方	(30)
提出資料一覧表	(31)
電気協同研究会の動き	(33)